

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション（証券コード:6674）**【見直し変更】**

長期発行体格付 A
格付の見直し 安定的 → ポジティブ

【据置】

債券格付 A
国内CP格付 J-1

■ 格付事由

- (1) 04 年に旧日本電池と旧ユアサコーポレーションが経営統合して設立された持株会社。持株会社によるガバナンス体制などからグループの一体性が認められ、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。主力の自動車用鉛蓄電池では世界 2 位で、国内およびアセアンでは首位。産業用電池電源においても、豊富な納入実績を有する。車載用リチウムイオン電池事業については、本田技研工業(ホンダ)と共同で BEV 向け電池の新工場を建設している。26 年 5 月に発表された第 7 次中期経営計画(27/3～29/3 期)では、今後需要拡大が見込まれる再生可能エネルギー向け常用蓄電システム、データセンター向けバックアップ用電池など産業用電池電源の生産能力を拡大する方針を掲げている。
- (2) 完成車メーカーとの強固な取引基盤や高い製品開発力、広範な代理店網を背景に、主力の自動車用鉛蓄電池で高い市場シェアを維持している。価格転嫁の進展に加え、産業用電池電源における保守サービス収入の拡大を受け、収益力は向上している。今後は、再生可能エネルギーやデータセンター向け需要の拡大を背景に、産業用電池電源の販売拡大とキャッシュフロー創出力の強化が見込まれる。車載用リチウムイオン電池事業については、ホンダの BEV 戦略見直しの影響を受ける可能性があるものの、十分な財務耐久力を有するため、財務が大幅に悪化するリスクは小さいと考える。これらを踏まえ、格付を据え置き、見直しをポジティブとした。
- (3) 27/3 期営業利益は 630 億円の計画であり、人件費などのコスト増加については、拡販や値上げ、生産体制の最適化によって吸収し、増益となる見込みである。自動車用鉛蓄電池で安定的な収益を生み出しつつ、産業用電池電源の拡販により、キャッシュフロー創出力も強化されていくと考える。
- (4) 26/3 期末の自己資本比率は 53.3%と前期末の 50.0%から改善した。産業用電池電源事業への設備投資拡大が計画されているものの、今後のキャッシュフロー見直しを踏まえれば、中期的に財務健全性が損なわれる懸念は小さいと JCR は考える。

(担当) 上村 暁生・大嶋 純一郎

■ 格付対象

発行体：株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A	ポジティブ

【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 1 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 9 月 13 日	2027 年 9 月 13 日	0.440%	A
第 3 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）（サステナビリティ・リンク・ボンド）	100 億円	2024 年 9 月 20 日	2029 年 9 月 20 日	0.860%	A

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	700 億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2026 年 8 月 24 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：水川 雅義
主任格付アナリスト：上村 暁生
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）、「自動車部品」（2023 年 8 月 1 日）、「持株会社の格付方法」（2025 年 4 月 2 日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション
- 本件信用格付の前提・意義・境界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル